

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			基礎点検
事務事業名	高速道路等の料金施策等に関する調整事務			シート番号	G企画・計画策定・調査研究事業 19-51
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画 課 評価責任者(課長名) 根兵

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	無
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	道路整備特別措置法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	近畿圏の高速道路等においては、複数の運営主体と料金体系が混在しており、利用者にとって複雑で分かりにくく、割高な料金となっている。また、ミッシングリンク(高速道路の不連続区間)が存在していることで、既存の高速道路ネットワークが有効に機能していない等の問題がある。このため、高速道路を利用しやすくするために、これらの課題を解消していくことが求められている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	道路利用者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	利用しやすい料金体系の実現とミッシングリンク早期整備による高速道路ネットワークの形成			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	近畿圏の高速道路は、複数の運営主体と料金体系が混在し、利用者にとって分かりにくく割高な料金体系となっていることから、平成29年6月より対距離制を基本とした料金体系に移行された。また、平成30年4月には、府道路公社路線(堺泉北有料道路、南阪奈有料道路)がNEXCO西日本に移管された。今後、料金体系の一元化により、利用者にとって更に分かりやすく利用しやすいものとなるよう、関係地方公共団体と連携し、高速道路会社や国等に働きかけていく。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

Ⅲ. 投入量

項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	0	0	0	0	
	主な事業費内訳		千円				
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	7,960	5,206	4,861	5,840	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,960	5,206	4,861	5,840		